

プレスリリース

業界初！開閉式の刈取部で幹周を一度に除草 「クワガタモアー KU350」を9月発売



「草と共に生きる」をブランドコンセプトに掲げる、自走式草刈機の国内トップシェアメーカー株式会社オーレック(所在地:福岡県八女郡、代表取締役社長:今村 健二)は、幹周除草に特化した業界初製品「クワガタモアー KU350」を2021年9月より発売いたします。

2つの刈取部が開閉する業界初の機構を搭載し、幹周や支柱周りの草を1度で刈り取れ、草刈作業の省力化、時間の短縮が可能です。また、軽量で女性や高齢者にも扱いやすい設計になっています。

弊社は今後も、農家の課題を解決する製品開発で、持続可能な農業の実現に貢献してまいります。



製品使用イメージ

【開発経緯】

乗用モアーが入れない木の根元付近や園周にある支柱周りの除草は、手刈りや刈払機、除草剤を用いるのが慣例です。刈払機は身体的負担の大きな作業であり、除草剤は有機農園や観光農園では使用しにくいいため、「楽に安全に」一度で幹周除草が可能な機械の開発に着手。4年の歳月を経て製品化に成功しました。製品名は、木を包み込んで刈る姿をクワガタに見立てたことに由来します。

【製品特徴】

① 太さの異なる支柱～樹幹まで1度で刈れる

刈取部が開閉し対象物を包み込みます。幹の太さに沿って内蔵のバネとアームが開閉するため、直径10mm程度の支柱～350mmの幹まで、1度の前後進で草刈りが可能です。刈取

部が前方にあるため、低い枝下の草刈りも容易に行えます。また、刈取部にはカバーが着いており、挟む対象物を傷つけにくい設計です。



② 樹脂ナイフ+ナイロンコード併用で高い刈取能力を発揮

幹や支柱近くの草をナイロンコードで刈ることで、挟み込む対象物へのダメージを最小限にします。また、刈取部の回転が内向きのため、石が外側に飛散することも少なく、安心してお使いいただけます。



③ ワンタッチで前後進の切替が可能

FR(前後進)レバーを握るだけで前進・後進の切り替えが可能。楽に操作できるため、作業能率も向上します。



④ 刈高調整が可能

45mm~90mm の間で3段階の調整が可能のため、幹下の土が盛り上がっている木にも対応します。また、夏場は幹への水分維持のため、あえて幹周りを高く刈る「高刈り」も可能です。

【使用場所】

- ・果樹農園の幹の根元、乗用モアーが入りづらい園周、パイプ支柱周りなど
- ・電柱、コンクリート支柱周り、道路沿いのガードレール下など

【製品動画】

製品の使用風景をご覧ください。

⇒<https://www.youtube.com/watch?v=ftscwlQEvqg>

【製品仕様書】

名 称	クワガタモアー	
型 式	KU350	
全長×全幅×全高(mm)	1870×660×830	
総重量(kg)	78	
本体	車速(km/h)	前進①1.3 ②1.7 後進①1.1 ②1.5
	能率(反/時間)	①0.8 ②1.1 (前進平面作業時)
	車輪	前輪：前輪(黒)130 後輪：タイヤ 3.50-5
	ハンドル調整	ワンタッチ可変式 上下4段階
	走行クラッチ	ベルトテンション
	走行ベルト	Vベルト SA31×1本
作業部	刈幅(mm)	樹脂ナイフ270×2 ナイロンコード320×2
	刈高(mm)	45～90(3段調整)
	ナイフ	樹脂ナイフ100×4 ナイロンコード300×4
	刈取ベルト	Vベルト SA30×1本、SA32×1本、SA47×1本
	作業クラッチ	ベルトテンション
エンジン	型式	GB101PN-410
	出力	2.2kW (3.0ps)
	油量/燃料	0.4L/1.6L(無鉛ガソリン)
価格	¥316,800(税込)	

【株式会社オーレック 会社概要】

- ・創業：1948年(昭和23年)10月
- ・代表者名：代表取締役社長 今村健二
- ・主要事業：緑地管理機/農業機械製造販売、DM事業、IT事業、花粉事業など

▼掲載・取材に関するお問い合わせ先▼

株式会社オーレック ブランディング広報グループ

担当：関 雅文 南立 彩花

(TEL:0943-32-5072、FAX:0943-32-6551)

kouhou@orec-jp.com